

# 新型コロナウイルス感染症による業務への影響について

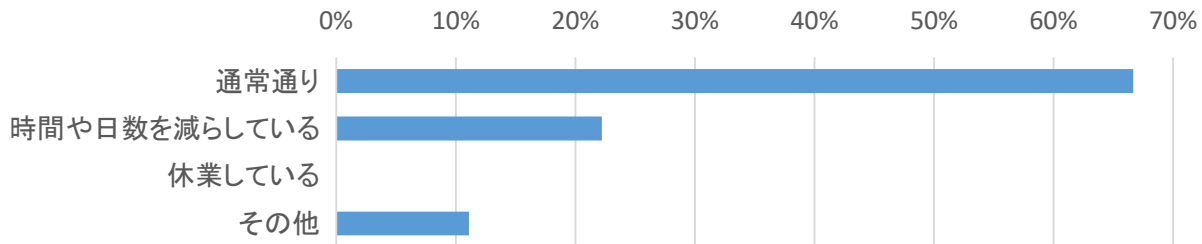
■調査日: 令和2年5月上旬

## (訪問看護)

■回答数:

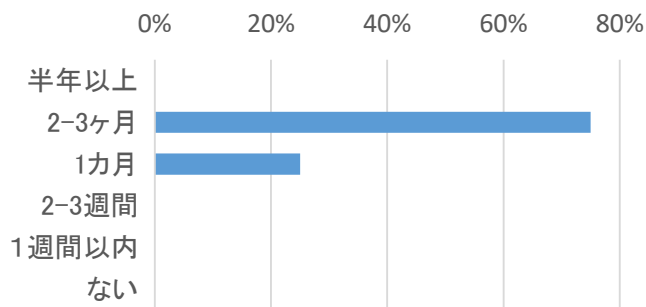
旭区内の訪問看護ステーションに  
勤める看護師 8名

### 通常通りの業務ができていますか

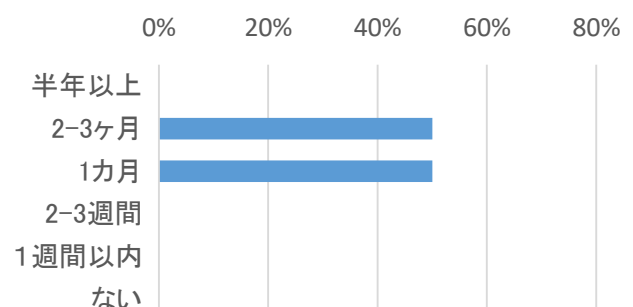


・利用者、家族様より希望があれば休み

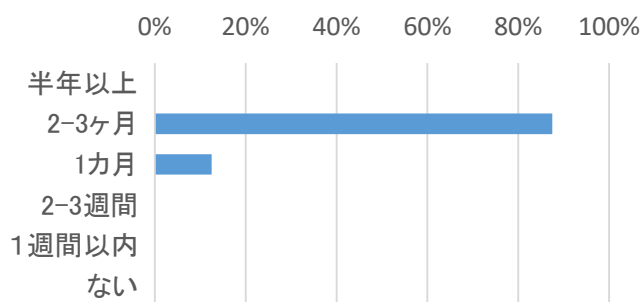
### マスクの保有状況(残り)



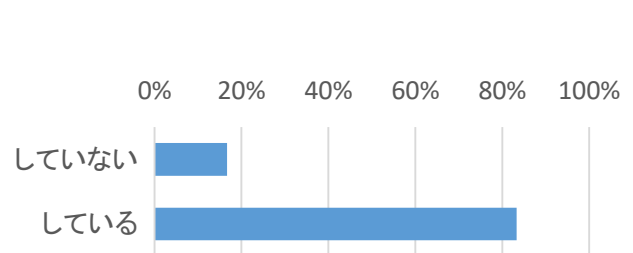
### 手指消毒用アルコール保有状況(残り)



### 介護用手袋の保有状況(残り)



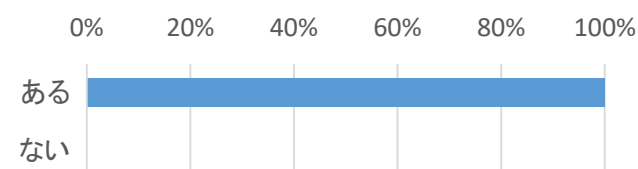
### マスクを洗浄・消毒するなどして再利用



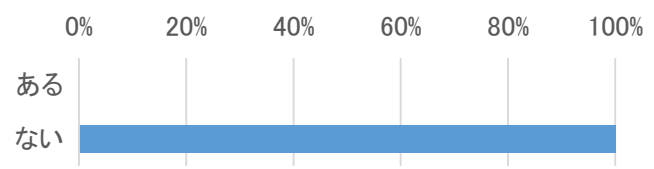
・マスクのフィルターを交換し、1日1枚使用している。残がなくなってくればペーパータオルか不織布ガーゼで手作りしようと考えている

### 2月以降、国・自治体・団体等から「マスク」の提供や寄付を受けたことがありますか

#### (マスク)

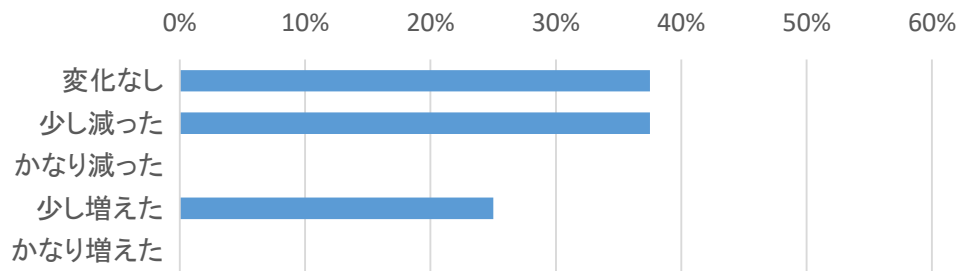


#### (消毒液)



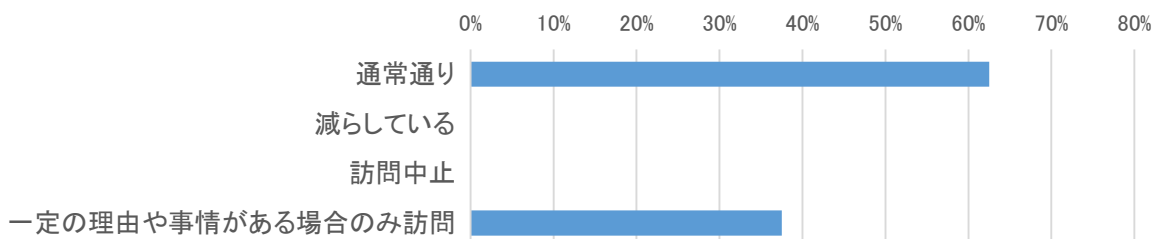
・国から50枚、訪看護ステーション協会から150枚(4月頃)  
・府市から200枚 ・ステーション協会から150枚程度(4月)

## 新型コロナウイルス感染症の影響で訪問看護の提供数に変化がありましたか



- ・リハビリをしばらくお休みしたいとの要望がある為（感染リスクを減らす為）
- ・落ち着いてる方は減らしたが、コロナで不安が強くなったり、デイやショート・訪問入浴・ヘルパーが休み（自粛）で訪看の訪問を増やしたりしている為

## 発熱のある利用者にはどのように対応していますか

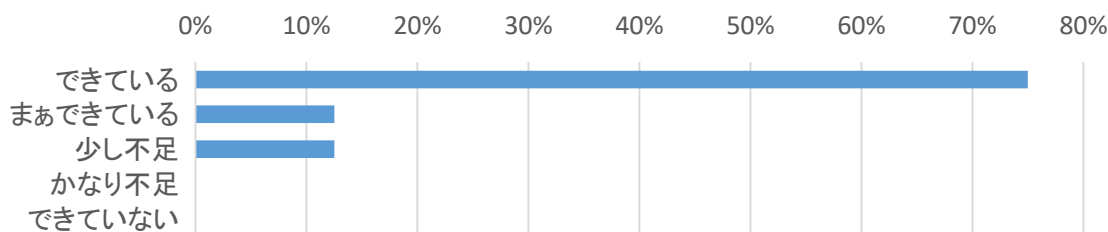


- ・防護具装備の上、訪問する。血圧計など身に付けるものは熱発者専用を準備している
- ・主治医に発熱因子を確認し、必要な訪問・点滴処置を行っている
- ・マスク、エプロン等着用。発熱原因がコロナではないと考える人の方が多いので、対応は必須
- ・家で対応できる場合は減らす方針だが、基本的には病状みるため防着、マスク、ゴーグル、ガウンテクニックして訪問
- ・主治医の指示に従って訪問判断

## ご利用者に、新型コロナウイルス感染（感染の疑い）がおられる場合、どのように対応されていますか おられる場合は現在の対応方法を、現在おられない場合は、今後の対応方法をお答えください

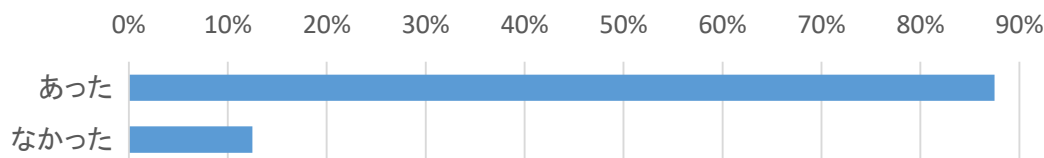
- ・キャップ、シールド、予防衣、N95マスクなど、フルセットで準備しているので着用し対応。看護師はベテランに限定
- ・防護服などで装備し、換気をしながら行っている（看護師はどうしても外せない処置があるため）
- ・訪問宅の清潔エリアを確保し、防護具装着し入室。サージカルマスクしかない為、マスクの外側にアクリル板をつけて対応
- ・家人がコロナ疑の場合は、本人が落ち着いていれば訪問を控えている
- ・手袋、サージカルマスク、予防衣着用
- ・間接的な接触の場があり、そのスタッフを一時待機へ。市・協会に報告して指示を待ちたい

## 現在の時点で、訪問看護師の人員確保ができていますか

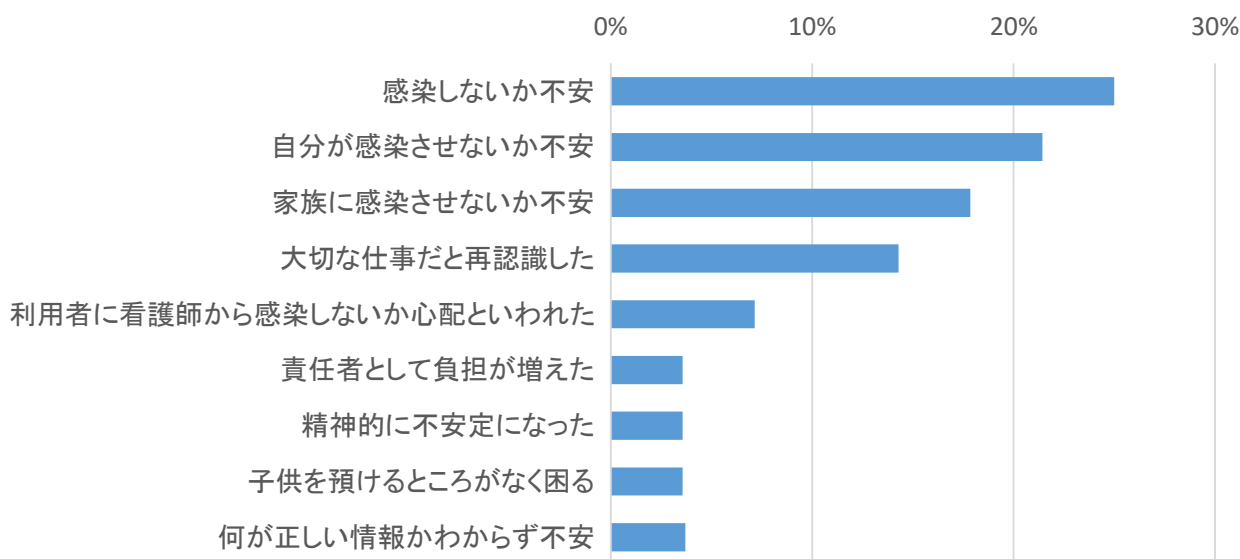


・スタッフがたまたま独身ばかりなので、子育てなどによる理由で休むスタッフがいない為

## 利用者(家族)から新型コロナ感染防止のため、訪問を中止してほしいと言われたことがありますか



## 新型コロナウイルス感染症をきっかけとした、気持ちや環境の変化がありましたか。(複数選択可)



## 現在、業務で困っていること、その他意見がありましたら何でもお書きください

- ・患者さんの病状悪化時に受け入れてくれる救急病院がないので、搬送先が決まらない
- ・入院されても面会に行けず、利用者の状況が分からない
- ・ヘルパーさんへ、発熱の利用者2名に対して念のためガウンテクニックを勧めたところ、事業所さんから訪問を控えるという返答があった。毎日2回ヘルパー訪問が必要なケースであり、対応を家人(別居)に泊まりに来てもらっているが、家人の負担が大きくなっている
- ・業務で困っていることはありませんが、本当にコロナ患者に対応するとなると、マスクもN95が準備できない状況で、医療機関に発熱患者の診療を拒否されると、自宅療養の限界を感じる。手技や対応に不安はないが、身を守ってくれる防護具に不安がある
- ・今できる感染対策を行い、スタッフ・スタッフの家族、ご利用者様からも感染の情報もなく訪問出来ています。今後まだまだ不安もありますので、困った事が出てきた時には相談させていただきます